

「第6回始良市地域包括ケア学習会」開催の報告



Vol. 8

SC 通信

すべての人が地域で安心していきいきと暮らし続けるために、いま地域で出来ることは何か、必要なものは何かを一緒に考える場として開催している地域包括ケア学習会。今年は「認知症」をテーマに、9月5日（月）始良公民館大ホールにて開催しました。2年ぶりの会場での開催で、152名のたくさんの方にご参加いただきました。



講演

吉本興業所属・鹿児島県住みます芸人 仮屋 竹洋 氏

「明るく向き合う認知症講演会」

～ボケても大丈夫。誰もひとりぼっちにしない～

キャラバンメイト（認知症サポート）を取得することになったきっかけであるおばあさまとの体験をもとにした笑いあり、涙ありのお話でした。後半では、新喜劇的一幕を参加型で行い、会場の笑いが絶えませんでした。

行政説明



始良市長寿障害福祉課

「地域包括ケアシステムと認知症支援の取り組みについて」

始良市の認知症支援の取り組み（認知症サポーター養成講座や予防教室）などについて説明してくださいました。

活動発表1



グループホーム小山田の里
小規模多機能ホームやまぼうし
代表取締役 藤田 香 氏

「地域の中の福祉施設として」

施設にいても地域で生きていることを感じることができるコミュニティ協や小学校との連携などについてお話くださいました。

活動発表2



かもだ通り商店街協同組合
専務理事 永長 徳一 氏

「商店街が展開する認知症連携」

商店街のみんなと事業所で取り組んだ見守り練習やオレンジカフェの報告の他、これからの目標をお話くださいました。

○参加者の声（学習会全体の感想）

すべての活動、取り組み、お話、初めて聞いていい勉強学びになりました。また参加したいです。

認知症があるからではなく、人として笑ってボケツッコミしながら会話できればと思います。

地元で頑張っている方々の話を聞いていると認知症になるのも怖くないと思える内容だった。

○アンケートにご質問を頂きましたので、仮屋さんにお聞きしてみました！

質問

仮屋竹洋さんの竹洋さんの名前の由来を知りたいです。

回答

親父が竹藪にイノシシ獲りに入った時、そこから見た太平洋がすごく広く見えたからだそうです。恥ずかしい由来のためみなさんあまり広めないでください。By 仮屋竹洋

ホームページ・SNS 情報

市社協では、ホームページ、SNS 等でも情報を発信しています。ぜひ、ご覧ください。



ホームページ



Facebook



Instagram



YouTube

※SC とは…地域の支え合いを充実させるための活動を支援する『生活支援コーディネーター』の略称です。